

令和 5 年度

国分寺市障害者地域自立支援協議会専門部会活動報告書

相談支援部会

就労支援部会

精神保健福祉部会

令和5年度 相談支援部会 年間活動報告書

今年度部会の主な取組予定

- ◆ 相談支援体制の現状把握と課題の検討
- ◆ 緊急を緊急にしないための取組に関する検討
- ◆ 災害対策に関する取組の検討

活動内容及びスケジュールなど

	日にち	内容	備考
第1回	6月8日(木)	・令和4年度の取組の振り返り ・災害対策について ・相談支援体制の現状と今後に向けて意見交換	
第2回	9月26日(火)	・相談支援体制の現状把握と課題の検討 ・災害対策に関する取組の報告(計画相談における防災意識喚起, 市内地域活動支援センター共同による防災への取組, 災害対策の情報整理とまとめサイトの作成 他)	
第3回	2月6日(火)	・相談支援体制について(相談支援体制検討プロジェクトチームの取組, 協働型機能強化相談支援体制の構築に向けた取組, 切れ目のない支援体制構築への取組 他) ・災害対策について(共同防災企画の実施報告, 災害対策の情報整理とまとめサイトの作成 他)	
相談支援事業所連絡会	4月20日(木) 5月18日(木) 6月15日(木) 7月21日(金) 8月17日(木) 9月21日(木) 10月20日(金) 11月16日(木) 12月21日(木) 1月19日(金) 2月15日(木) 3月21日(木)	・サービス等利用計画の書式等について ・計画相談における災害対策(モニタリングを活用した避難行動要支援者登録の把握等) ・計画相談における手続きの効率化について ・計画相談における加算に関する勉強会 ・基幹ホームページの活用方法について ・自立生活サポートセンターこくぶんじの事業について ・機能強化型相談支援体制プロジェクトチーム, 相談支援体制検討プロジェクトチームについて <新任研修> ・令和5年度支給決定基準等について <ブラッシュアップ研修> ・消費生活相談について ・相談支援事業の黒字経営について ・権利擁護センターこくぶんじの事業と地域福祉権利擁護事業について ・相談支援事業所 機能強化協働～宮代町・杉戸町における取組～ ・ネガティブ・ケイパビリティ(答えの出ない事態に耐える力)を学ぶ ・様々な進路について考えよう～通信制高校特集～ ・根岸病院見学(根岸病院概要, 病棟見学等) <事例勉強会> ・権利擁護センターこくぶんじの事業と地域福祉権利擁護事業を利用している事例	・毎月開催

障害児通所 支援事業所 連絡会	7月11日(火)	・児童から成人への円滑な移行と教育との連携 ・武蔵台学園卒業後の進路について ・就労支援部会及び就労支援事業所との連携について ・セルフプラン増による影響について ・障害児通所支援事業所間の情報共有	
	1月30日(火)	・セルフプランについて(流れや様式等について、各事業所で感じている課題等) ・重度心身障害児ではない医ケア児の受入れについて ・家庭、学校、相談支援事業所との連携について	

成果・活動から見てきたことなど

- ・重層的支援体制整備事業が開始されたことにより、分野を越えての情報共有や連携がしやすくなっていることが報告された。障害分野だけでは解決できない事例や、数年内に変化が予想される事例(親の高齢化等)の予防的関わりやゆるやかな見守り等において、各機関で積極的に活用できるよう今後も情報共有や事例検討を行っていききたい。
- ・利用者の権利を守るためにも、相談支援事業所が継続的に運営できることが大きな課題となっている。相談支援事業所連絡会では経営の安定化をテーマに研修を重ね、実現可能な取り組みの検討を開始している、また、相談支援体制検討プロジェクトチーム及び協働型機能強化相談支援体制プロジェクトチームと情報共有を行うなど連携を図っている。
- ・インターネット内に点在する災害対策に関する情報を整理した「障害のある方向けの防災情報まとめサイト」を基幹相談支援センターで作成し、その運用及び周知方法について意見交換を行った。この防災情報まとめサイトのついては、障害のある方向けに作成したものの、誰にとっても有用であるとのことで、より多くの人に周知できると良いと考えている。その他、福祉避難所の運用について具体的に話し合う必要があるが、防災安全課の協力が必要不可欠であるなどが課題として挙げられた。
- ・障害児通所支援事業所連絡会では、児童で増加しているセルフプランの現状について情報共有を行った。セルフプランでは、サービス利用までの手続き等を家族が行わなければならないことから、利用開始までに何カ月も時間を要しているケースが発生していることや、家族やサービス提供事業所が困った際に、誰に連絡してよいかわからない等の課題が挙がっていることが共有された。また、障害福祉サービス利用の一連の流れや、手続きの進捗をわかりやすくすることで、サービス提供事業所としてもセルフプランの方のサポートがしやすくなるとの意見も出され、初めの一步をサポートする工夫として、「サービス等利用計画」について、①市の窓口へ提出するだけでなく本人控えと事業所提出用のコピーがあるか確認する、②申請時の窓口担当者名がわかるようにする、③セルフプランの書式に「必要に応じて関係機関が情報共有等の連携をすることに同意する」欄を設ける等の提案があった。今後もセルフプランの現状については引き続き情報共有し、課題を検討していく。

今後の活動予定

	日にち	内容	備考
相談支援部会 第1回 第2回 第3回	5月28日(火) 9月17日(火) 2月12日(水)		
相談支援事業所 連絡会	毎月	・各事業所における現状・課題の報告 ・相談支援体制の構築に向けての取組、検討 ・相談支援専門員のスキルアップのための取組 等	
障害児通所支援 事業所連絡会	7月9日(火) 2月頃	・事業所間の連携・情報共有について ・教育との更なる連携について ・セルフプランの現状と課題の検討 ・児童から成人への切れ目のない支援体制について	

令和5年度 就労支援部会 年間活動報告書

今年度部会の主な取組内容

- ◆ 就労支援に関する地域の課題の掘り起こしと各課題解決のために必要な取組について協議
- ◆ 優先調達の推進について協議
- ◆ 国分寺障害者施設お仕事ネットワーク価格表の活用について協議
- ◆ 商業施設での販売会の充実について協議

活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	6月6日(火)	①各作業部会の取組状況報告 ・国分寺障害者施設お仕事ネットワーク(商業施設での販売会, 東京都共同受注) ・就労支援事業所連絡会	
第2回	8月29日(火)	②今年度の取組の進捗状況の報告や協議等 ・優先調達の推進について ・国分寺障害者施設お仕事ネットワーク価格表の活用について ・商業施設での販売会の充実について ・その他(放課後等デイサービスと就労支援事業所との連携について)	
第3回	2月5日(月)	③次年度の取組について協議	
国分寺障害者施設お仕事ネットワーク	毎月1回 (原則第2木曜日)	＊共同受注に関する進捗状況報告等 ＊価格表を活用した新規受注の開拓 ＊販売会の企画・提案・実施・課題整理 ＊就労支援部会から出される課題についての協議など	
就労支援事業所連絡会	7月4日(火) 1月12日(金)	＊関係機関による一般就労支援に関する課題の共有 ＊庁内実習や実習先の開拓等の協議	就労移行支援事業所4事業所, 就労継続支援B型事業所2事業所, 全6事業所が参加。
障害者週間行事における販売会	12月1日(金)～ 12月7日(木)	お仕事ネット加盟団体による自主製品等の販売やクラフト品等のワークショップを開催 ＊ワークショップは2日(土), 3日(日)のみ	販売会会場: セレオ国分寺1階 ぶんじマーケット ワークショップ会場: 9階レストラン街 特設ステージ

成果・活動から見えてきたことなど

- ◆優先調達の推進についての協議としては、市の契約案件を優先調達で受注するためには、市の職員と各お仕事ネットワーク加盟事業所が顔の見える関係を作ることが大切であることを前提に、どういった動きができるかを検討した。市役所新庁舎移転後に新たに発生する業務も含めて、優先調達を検討してもらえるように働きかけを行った。また、お仕事ネットワークのような共同受注組織がない自治体の場合、発注できる事業所がないことを理由に、優先調達を断念するケースも有り得る為、障害福祉課から他市の障害福祉課に、お仕事ネットワークについて話すことも、可能性として考えられるという意見等が挙がった。
- ◆お仕事ネットワークの価格表の活用に関しては、知名度不足を感じているが、各事業所の受注獲得への意欲にばらつきがあり、複数の事業所が加盟して運営するスケールメリットが十分に発揮できていないことも、受注拡大に結びつかない要因のひとつと考えられるという意見が挙がった。価格表の配布については、動画を活用すること、商工会の活動に参加してお仕事ネットワークについて周知すること等、周知方法の工夫が必要という意見が挙がった。実際の反響については情報共有しながら、価格表が活用されることにより、障害者の作業・収入の拡充に繋がっていかねばと考える。
- ◆商業施設での販売会実施に関しては、12月の障害者週間行事にセレオ国分寺にて、販売会を12月1日（金）～7日（木）の計7日間、ワークショップを12月2日（土）・3日（日）の2日間、場所の広さ、開催日数など、例年と比較して規模を拡大して開催した。昨年度までの反省点を元に、自主製品（菓子等）の試食やコーヒーの試飲等も行い、支払い方法もキャッシュレス対応機器を導入した。今後も工夫や改善点を検討し、販売会の売上アップやお仕事ネットワークの知名度向上に繋げていきたい。
- ◆就労支援事業所連絡会は、就労移行支援事業所に限らず、一般就労を支援する事業所（就労継続支援B型）も参加し、各事業所の一般就労に向けた取組状況や課題等の情報共有を行った。支援者または当事者向けの勉強会のニーズがあった為、来年度以降に開催できるよう検討・調整をする予定。
- ◆地域における実習先の開拓については、国分寺市障害者就労支援センターの運営委員会を通じて、就労支援センターと就労支援事業所が地元商店街のイベントへの参加し、地域交流、相互理解を深められるよう計画した。顔の見える関係性を築きながら、地域への貢献、障害者雇用の啓発、実習受入先の開拓などに繋がる取組を行っていかねばと考える、来年度以降も地元商店街のイベントへの参加を継続していく予定。その他の実習受け入れを了承していただいている企業等での実習については、実施できていない状況が継続しているが、今後も実習機会について調整を図る予定。その他、庁内実習等については概ね予定通りに実施した。

今後の活動予定

	日にち	内容	備考
就労支援部会	第1回 5月29日（水） 第2・3回 未定	①各作業部会の取組状況報告 ②令和6年度の取組について	
国分寺障害者施設お仕事ネットワーク	定例会毎月1回 原則第2木曜日	＊共同受注に関する進捗状況報告等 ＊価格表を活用した新規受注の開拓 ＊販売会の企画・提案・実施・課題整理 ＊就労支援部会から出される課題についての協議等	
就労支援事業所連絡会	不定期 （年2～3回程度）	＊関係機関による一般就労支援に関する課題の共有 ＊庁内実習や実習先の開拓等の協議 ＊支援機関向けまたは当事者向けの勉強会の開催の検討・調整	就労移行支援事業所4事業所、就労継続支援B型事業所2事業所、全6事業所の参加。

令和5年度 精神保健福祉部会 年間活動報告書

◆全体を通じて「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けて協議を行った(継続)。

- ① 「地域生活支援拠点」における「体験の機会・場」の機能について、今年度開始されたピア国分寺でのミドルステイの有用性や効果についての共有を行った。
- ② 精神障害者に必要な緊急時の支援について、ニーズの整理や必要な機能について協議した。
- ③ 精神障害に関する普及啓発について、対象や方法等を引き続き協議した。また、若年世代への普及啓発については教育部門との連携を模索した。
- ④ 他自治体でピアサポーター活用事業を行っている精神障害当事者の方及び担当者からピアの自身が事業に参加する意味や有用性についてのヒアリングを行った。
- ⑤ 地域移行等支援連絡会において、「退院意欲・退院支援意欲喚起のためのツール作成」など退院支援の体制構築の取組を進め、近隣市の精神科病院へのアプローチを重ねた。

活動内容及びスケジュールなど

	日にち	内容
第1回	6月23日(金)	①地域生活支援拠点へのピア国分寺の位置づけについて ⇒地域移行・地域定着に向けた体験利用に係る課題等の整理 ②支援につなぐににくい世帯への支援について ⇒支援者が連携し、世帯としてアセスメントをしていく ③当事者の方の活躍の場について(今年度のヒアリングの取組含む) ⑤地域移行等支援連絡会の活動報告と今年度の取組について ⇒退院意欲・退院支援意欲喚起のツール作成と精神科病院へのアプローチの進捗報告
第2回	10月6日(金)	③精神障害に関する普及啓発活動・広報等について ⇒ボランティア活動センターこくぶんじの「ふくし体験プログラム」の取り組みについて ⑤地域移行等支援連絡会の活動報告ならびに今後の活動について ⇒第2弾の動画視聴・意見聴取 地域移行支援の好事例のケース検討報告
第3回	2月2日(金)	③精神疾患に関する普及啓発について ⇒ぶんぶんチャンネル11月号について・今後の方針について ④当事者ヒアリングの実施 ⇒地域生活支援センターMOTAより世田谷区ピアサポーター活用事業の聞き取り・ピアサポーター等の活用に関する意見聴取 ⑤地域移行等支援連絡会の活動報告及び今後の活動について ⇒近隣市精神科病院との会合の報告 地域移行支援の好事例のケース検討報告
スキルアップ研修 (地域移行)	7月14日 (金)	◆地域移行支援 in 国分寺「地域支援機関と精神科病院との連携」 ～看護の現場の取組を知り、私たちにできることを考えよう～
地域移行等 支援連絡会	4月21日(金) 5月30日(火) 6月23日(金) 8月1日(火) 9月12日(火) 10月12日(木) 10月16日(月) 11月27日(月) 12月12日(火) 1月22日(月) 3月12日(火)	・令和5年度精神保健福祉部会の各回の開催について ・退院意欲、退院支援意欲喚起のためのツール作成について ～GH紹介動画第2弾について～ ・退院意欲喚起のためのツールに関する各精神科病院からの感想振り返り ・ネットワーク研修Ⅰ(地域移行)について ・次年度ネットワーク研修Ⅰ(地域移行)について ・個別ケースの取り組み及び退院支援に向けた検討について ・事例検討～好事例の集約～ ・地域移行の取組の今後の進め方について ・普及啓発のための「11月ぶんぶんチャンネル」の打ち合わせ及び撮影 ・近隣市精神科病院訪問(地域移行支援に向けた市民入院者の状況共有) ・近隣市精神科病院訪問の振り返り

成果・活動から見えてきたことなど（課題整理）

- ◆国分寺市の精神保健福祉の向上のため、様々な取組を集中的に行う目的で、地域移行等支援連絡会を定期的に開催した。市民の地域移行支援や地域定着支援を促進していくための「退院意欲喚起のためのツール」として令和４年度の第一弾に続き、第二弾の動画製作を行った。内容は、アパートタイプのグループホームでの生活の様子を本人目線で紹介するもので、精神科病院の職員等からは、グループホームの情報を与えながら、同時に安心感も与えてくれ、グループホームでの生活をイメージすることができる動画として分かりやすかった、という評価をいただいた。
- ◆現在入院されている市民の方の状況把握やケース検討と並行し、実際に地域移行支援等により退院された事例の中から「好事例」のケース検討を行った。上手くいったことを検証し、当事者が安心して生活を送ることのできる環境を整える要素を抽出・蓄積していくことにより「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に必要な課題が明確になってくると思われる。
- ◆普及啓発については、11月のぶんぶんチャンネルにおいて、精神に係る相談の実際について紹介する番組を作成した。また、若年層への普及啓発を検討するため、ボランティア活動センターこくぶんじが市内の小中学校に向け提供している「ふくし体験プログラム」にある、「心の病気ってなんだろう？」という講義について、小中学校から依頼があった際に部会として講師を引き受けることが可能か提案を行った。実際は精神障害の講義の依頼実績はないが、今後も、市内小中学校向けのこころの健康に関する講座を企画し教育部門に発信できないか、検討を継続していく。さらに高校の保健体育の教科書に精神疾患や精神保健福祉等の記述が復活したことを鑑み、高校への関わりを持てないかについても検討していく。
- ◆市内において、更なる当事者への生活支援の向上と、今後の当事者の活躍の場の検討のため、今年度は、先駆的にピアサポート活動を行っている、世田谷区にある、地域生活支援センターめぐはうすの事業担当者とそのピアサポーターをお呼びして話を伺った。ピアサポーターが活躍する場があることで、当事者市民の生活支援の向上や、ピアサポーター自身のリカバリーにつながっていることを共有した。これをもとに、国分寺市でもピアサポーターが活躍できる場を検討していきたい。
- ◆「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」において重要な機能を担う地域生活支援拠点の充実に向けて、今年度より開始されたミドルステイの利用状況をこれからも確認し、その有用性や効果を検証し、安定した地域生活のための支援方法の拡充を見出していく。加えて、体験後の自立を迎える状況となった際に、生活の基盤となる「住まい」に対する居住支援についても、課題が散見されている現状を踏まえ、検討を続けていく。

今後の活動予定

- ◆当事者ヒアリングは継続的に実施し、幅広くニーズや課題を把握していきながら地域生活支援拠点や「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築につなげていく。かつ、当事者やピアサポーターの活躍の場の拡充について検討していく。
- ◆地域移行等支援連絡会を中心に、個別支援ケース検討や「退院意欲喚起のためのツール」作成を行う。また病院との関係づくりと個別支援の好事例づくりの両輪で、地域移行や地域定着支援に必要な体制整備を進めていく。
- ◆8050 問題や、若年層への精神保健福祉の普及啓発についての検討を続け、プライマリケアの重要性について普及啓発するための他領域との交流を進める。

次年度の活動スケジュール

第１回	令和６年	６月２１日（金）	午後	場所未定
第２回	令和６年	９月２０日（金）	午後	国分寺市役所書庫棟会議室
第３回	令和７年	２月 ７日（金）	午後	cocobunji プラザリオンホール A ホール
その他、地域移行等支援連絡会を定期開催。				